

令和3年度第2回熊本県環境影響評価審査会

議 事 概 要（書面審議）

1 日 時

令和3年（2021年）4月28日（水）から令和3年（2021年）6月4日（金）

2 書面審議者

熊本県環境影響評価審査会委員

3 事業者等

山都太陽光発電所合同会社、一般財団法人九州環境管理協会

4 議 題

「アグリヒルズ・ソーラー山都発電事業計画段階環境配慮書」について

5 議事概要

主な意見等の概要は以下のとおり。

- ・ 中継基地の位置は、幹線道路沿いとのみ記載されており、民家や居住施設への配慮の記載がないが、中継基地での積み替えによる騒音・振動の影響はないか。また、中継基地の敷地選定の際に、周囲の民家や居住施設の位置は考慮するのか。
- ・ 自衛隊演習地がある大矢野原は、本来の草原の姿が維持されている数少ない場所である。これに隣接する事業実施想定区域内の草原には、タカネコウリンギク、サギソウなどの重要な種が生育している可能性があるので丹念に調査していただきたい。
- ・ 外部からの来訪者を対象とする眺望も重要であるが、日常の風景となる周辺住民の「景観」はさらに重要である。例えば、西大谷地区など、事業実施想定区域内ならびに周辺住宅・集落からの景観についてもモニタージュを作成されたい。
- ・ 山都町観光ナビによれば、周辺に「下名連名フットパス」があるのではないか。また、調査地点に加えるべきである。
- ・ 昨年の球磨地域広域での大規模な水害等の発生を考慮すると、今回の計画における表流水の流向と流量（下流部への水害防止対策）の把握が必要と考える。また、今回のメガソーラー設置により、これまでの雨水浸透量が少なくなり、ソーラー部のエリアは雨水排除され、表流水量が多くなり、水害等の危険性が高くなるのではないかと考える。

※配付資料

アグリヒルズ・ソーラー山都発電事業現地状況等説明資料